



地球環境の保全を最優先とし、低炭素社会の実現を目指します。

## 環境理念

当社は、地球環境及び地域環境の保全を最優先課題と捉え、緑あふれる地球を未来に残す責任ある一員として、「地球は我等の共通の広場なり」をスローガンに、環境に配慮した事業活動と地球環境保全の両立を目指します。

## 環境方針

- 1 あらゆる事業活動から生ずる環境側面への影響評価を行い、自主的な改善計画を策定し、積極的な環境保全に努めます。
- 2 関連する環境法規制、その他の要求事項を遵守し、自主管理基準を設定し、環境汚染の未然防止に努めます。
- 3 環境目的・目標・実施計画を設定し、継続的な改善を行うことにより環境への負荷を軽減し、環境と調和する事業活動を目指します。また、それらは必要に応じて見直します。
- 4 環境教育や啓蒙活動を実施し、全従業員及び当社で働く全ての人への環境方針の理解と情報の周知をします。
- 5 環境情報は社外へ開示いたします。また地域や社会との交流を図り、環境保全活動に積極的に協力します。

従業員の



VOICE



## 地球環境に配慮した、 サステナブルな物づくり

生産本部 環境管理課 野間 健太郎

私たちがこの地球上で暮らして行く上で、食料や水、気候の安定など、多様な生物が係り合う生態系から得ることができる恵みのことを「生態系サービス」といいます。物づくり（事業活動）をして行く上でも、この生態系サービスを利用している訳ですが、これを将来に渡って利用出来る持続可能な社会を目指し、私たちは日々の生産活動を通して環境活動に取り組んでいます。

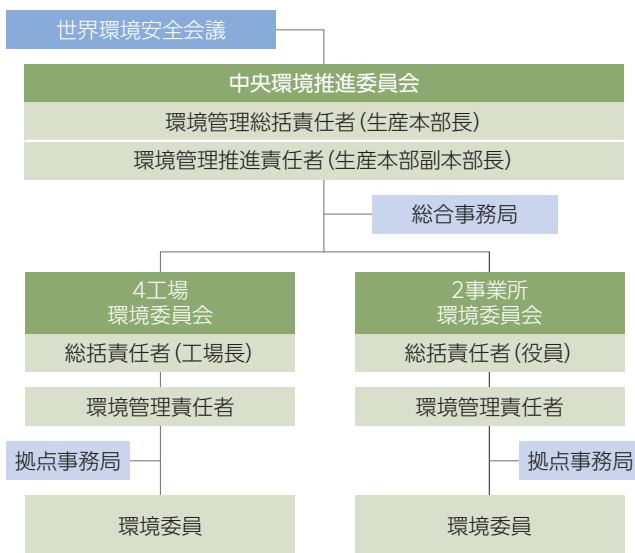
## オールジーテクトでの環境マネジメント体制

ジーテクトでは、地球環境問題を企業が取り組む最優先課題として考え、国内では、1998年からISO14001環境マネジメントシステム(EMS)の認証取得を進めて来ました。各工場はISO14001EMSの環境委員会を単位として、各工場長が環境管理総括責任者を兼任し、環境のコンプライアンスや改善活動を継続的に進めています。これに本社とC&C栃木の2事業所を加え、これらの上位

組織として中央環境推進委員会を設置し、全社的な地球環境改善活動に関する事項を統括しています。

また、2014年6月より「世界環境安全会議」を発足させ定期開催し、各海外地域本部長を責任者として、グローバル全体における環境マネジメントの強化と情報共有に努めています。

### ジーテクト国内環境管理体制



### ISO14001認証取得状況

国内サイト	取得年月日
栃木工場	1998年12月
埼玉工場 羽村事業所1・2 羽村事務所	1999年 4月
滋賀工場	1999年 4月
群馬工場	2004年12月

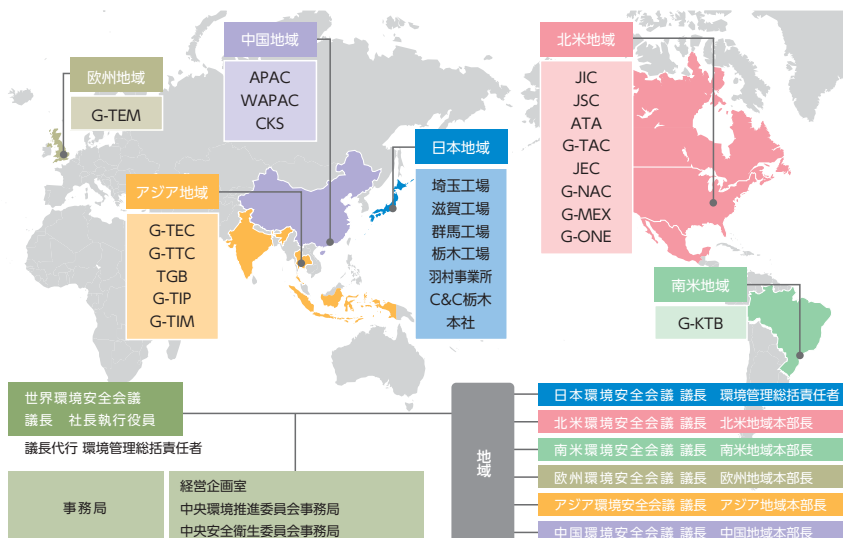


世界環境安全会議の様子

ISO14001登録証

埼玉工場  
埼玉工場羽村事業所1・2  
羽村事務所

### 世界環境安全会議



## G-TEKT環境ロードマップ

### 環境基本理念：「地球は我等の共通の広場なり」の実現へ

環境目的を定め、目標に向けた環境活動計画に基づき、継続的改善活動を推進しています。

#### 【2020年 Vision G4-20】

Green（環境・安全・社会貢献）  
環境 / 安全に配慮した事業展開

#### 【全社重点目標】

環境負荷と環境リスクの低減

#### 【各事業所の環境目的】

1. 水質汚濁の防止
2. 工場騒音・振動の防止
3. エネルギー消費量の削減
4. 廃棄物の低減 (3R)
5. 地域社会貢献

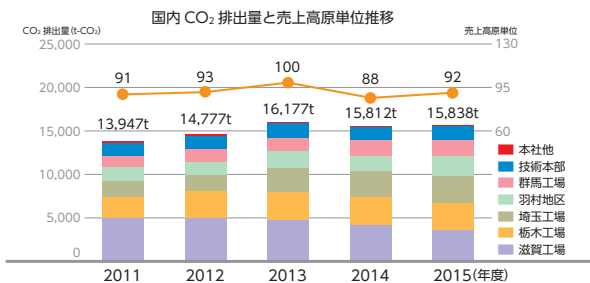
領域	内容	計画 / 実績	2014年度	2015年度	2016年度
生産	温室効果ガス(GHG)排出 売上高原単位の低減	目標	1%改善（'13年比）	2%改善（'13年比）	3%改善（'13年比）
		実績	12.5%改善	8.1%改善	—
		評価	◎	◎	—
	グローバル環境管理体制強化	目標	・グローバルでの削減展開 ・環境データ精度UP	削減展開	継続
		実績	・世界環境安全会議発足 ・海外環境データシステム構築準備	・世界環境安全会議にて 環境改善事例の共有化	—
		評価	◎	◎	—
環境 マネジメント	騒音振動、水質汚濁、大気汚染 公害、廃棄物処理等の環境問題 を発生させない	目標	環境法令順守 社外流出、苦情件数ゼロ	環境法令順守 社外流出、苦情件数ゼロ	継続
		実績	環境問題ゼロ	環境問題ゼロ	—
		評価	◎	◎	—
	ISO14001 EMS 2015 改訂版への移行	目標	準備	システム再構築	システム移行
		実績	情報収集	システム文書見直し	—
		評価	◎	◎	—
企業活動	生物多様性への対応	目標	取り組み指針の策定 準備及び活動展開	活動展開	継続
		実績	・ガイドライン発行 ・活動開始	森林づくり活動、他の実施	—
		評価	◎	◎	—
	社会への発信	目標	環境(CSR)レポート 発行への準備	CSR報告書2015の発行	継続
		実績	情報収集及び準備	2015年6月初版発行済み	—
		評価	◎	◎	—

### ◀ マテリアルフロー（※2015年度実績値）



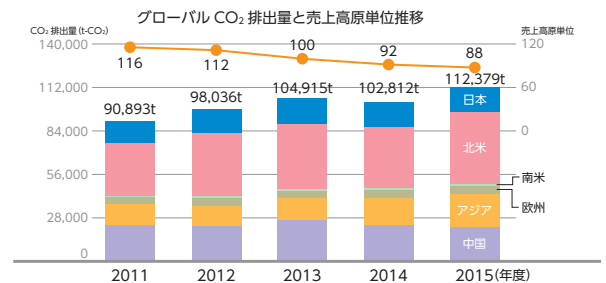
### 温室効果ガスの低減(国内)

国内でのCO<sub>2</sub>排出量は、2013年度比で原単位(売上高当り)毎年1%の削減を目標に展開し、2015年度は国内景気の足踏み等により販売が低迷し生産台数が減少した影響から原単位は2014年度から4ポイント増の8.1%の削減となり、CO<sub>2</sub>排出量は26tの増加となりました。



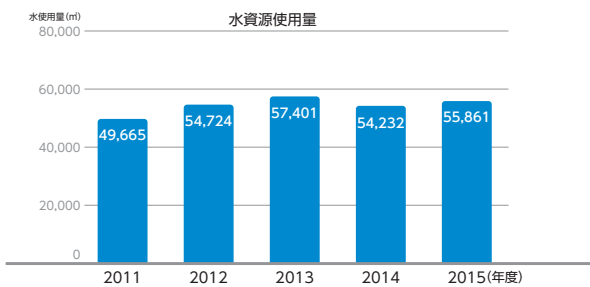
### 温室効果ガスの低減(グローバル)

グローバルにおけるCO<sub>2</sub>排出量は、2013年度を基準に原単位(売上高当り)で毎年1%の削減を目標に展開を始めました。2015年度は北米・アジアの増産や非量産売上げが増加し、また為替の影響もあったことから原単位は12.1%の削減となり、CO<sub>2</sub>排出量は9,567tの増加となりました。



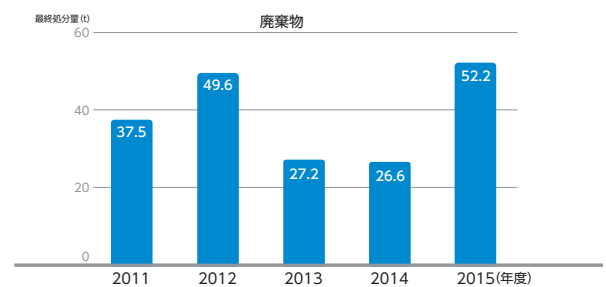
### 水資源使用量の低減

貴重な水資源の使用量低減活動から間接的に給水場のポンプ使用エネルギーの削減につなげています。また見える化により、構内の水道管水漏れ箇所の早期発見などにも役立っています。



### 廃棄物の低減

不要物の3R(リデュース、リユース、リサイクル)による廃棄物の低減を推進しています。



注) 数値は中間処理前の引き取り量

### グリーン調達取り組み

サプライチェーン全体での製造過程における環境負荷の低減をめざすグローバルなモノづくりを推進し、持続可能な社会の実現に貢献したいと考えております。グリーン調達は、この活動の一環として、積極的に環境保

全活動に取り組んでいるサプライヤーの皆様から、化学物質の適正使用、生態系の保全、環境負荷のより少ないプロセスを経て製品を調達することを目的として取り組んでいます。



## 環境改善取り組み

### ◀ エアコンプレッサーの台数制御運転による消費電力の削減(日本)

製造現場で使用しているプレス機械や溶接治具、エア工具等を動かすには、圧縮空気が必要なため、エアコンプレッサーで圧縮空気を作っています。このエアコンプレッサーの消費電力を削減するため、埼玉工場では、必要に応じて圧縮機の運転台数を制御するインバーターエアコンプレッサー150kW型を3機採用して連動制御運転させています。



1機に2台の圧縮機が搭載されているインバーターエアコンプレッサー

### ◀ 工場天井・壁面の明り取り窓による照明点灯時間の削減(ブラジル)

ブラジルのG-KTBでは、工場の天井と壁面に明り取り窓を多く採用し、太陽が出ている昼間には天井灯を消しても生産に影響の出ない照度を保つことにより、天井照明の点灯時間を削減して消費電力の削減へとつなげています。



工場天井と壁面の明り取り窓

### ◀ 地球温暖化対策

地球温暖化対策取り組みの一つとして、CO<sub>2</sub>排出量を削減できる発電という観点から、工場の屋根上にソーラーパネルを設置し、発電事業を2014年から行っています。サブ効果として、屋根からの太陽熱を遮れるため、工場の室内温度上昇が抑えられ夏場の空調機器の負荷低減にもつながっています。



埼玉工場太陽光発電所



群馬工場太陽光発電所



滋賀工場太陽光発電所

埼玉工場太陽光発電所		群馬工場太陽光発電所		滋賀工場太陽光発電所	
【設備概要】		【設備概要】		【設備概要】	
太陽電池容量	1,605kW	太陽電池容量	1,306kW	太陽電池容量	602kW
SHARP製245W×6,552枚		SHARP製245W×3,920枚 SHARP製250W×1,386枚		SHARP製245W×2,408枚	
最大発電出力	1,500kW	最大発電出力	1,000kW	最大発電出力	500kW
PCS：TMEIC製500kW×3台		PCS：TMEIC製500kW×2台		PCS：TMEIC製500kW×1台	
太陽光発電		系統連系開始日		年間発電量実績	年間CO <sub>2</sub> 換算量
埼玉工場		2014年3月31日～		1,957,260 kWh	988 t-CO <sub>2</sub>
群馬工場		2014年4月25日～		1,571,059 kWh	793 t-CO <sub>2</sub>
滋賀工場		2014年12月5日～		777,823 kWh	413 t-CO <sub>2</sub>





## ジーテクトの生物多様性の取り組み

ジーテクトでは、最重要課題である地球環境保全の中で、自社の事業活動が影響を及ぼす可能性のある「生物多様性」について、2014年度より「G-TEKT生物多様性ガイドライン」を定め、更なる取り組みに着手し始めました。

### G-TEKT生物多様性ガイドライン

G-TEKTは、「G-TEKT環境理念」における「地球環境保全」の重要な取り組み課題として「生物多様性の保全及び持続可能な利用」を認識し、事業活動との両立を図っていきます。

#### 重点取り組み

##### 1. 環境先進技術の追求

業界TOPの環境負荷の低い商品開発と量産化により、生物多様性の保全に貢献していきます。

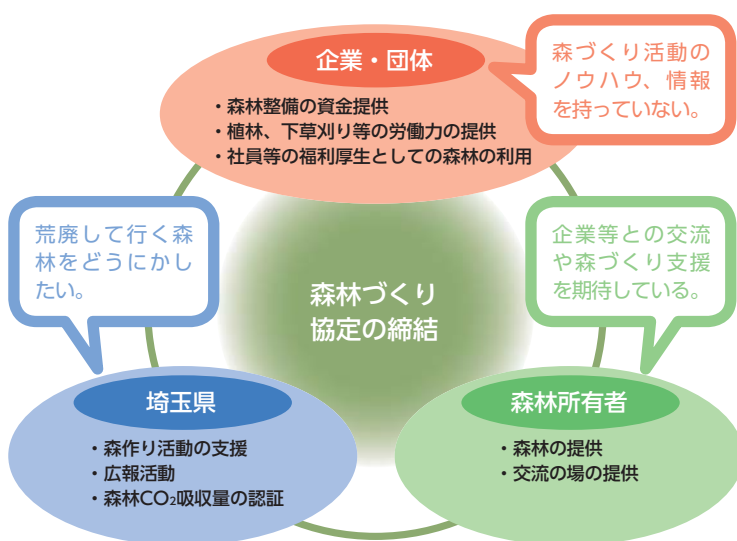
##### 2. 事業活動における取り組み

生産効率向上の追求により環境負荷を低減し、生物多様性に及ぼす影響の低減及び持続可能な利用に努めます。

##### 3. 地域社会とのコミュニケーション

地域社会と連携した環境保全活動並びに社会貢献活動に積極的に協力し、地域社会との交流を図っていきます。

### ■ ゴーテクトの<sup>もり</sup>森林づくり



#### 埼玉県「企業の森林づくり」の仕組み

ジーテクトでは、生物多様性取り組みの一環として、2014年から「企業の森林づくり」活動を開始しました。

「企業の森林づくり」とは、森林づくり活動の場所を提供する市町村等および活動を支援する県、森林づくり活動を行う企業・団体の3者が協定を結び、協力して森林づくりを行う取り組みです。

私たちジーテクトは、『未来の子どもたちに、緑あふれる地球を引き継いでいく』をスローガンに、この取り組みに参加しています。



弓立山山頂付近に設置している、埼玉県産木材を使用した看板

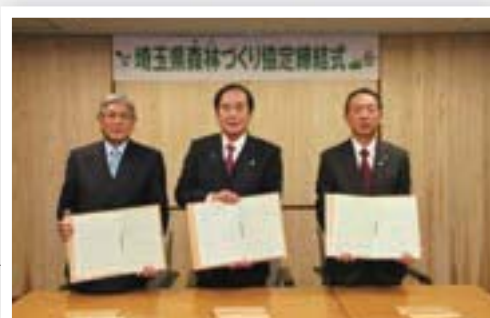
## 森林づくり協定の締結

### ● 滋賀工場

2014年12月10日に「琵琶湖森林づくりパートナー協定」を滋賀県、大野山林財産区管理会と締結しました。

### ● 埼玉工場・羽村地区・本社・群馬工場

2015年2月4日に「埼玉県森林づくり協定」を埼玉県、ときがわ町と締結しました。



埼玉県森林づくり協定締結式  
写真左から、(株)ジーテクト 菊池会長(当時社長)、埼玉県 上田知事、ときがわ町 関口町長

## 森林づくり活動

### ● 滋賀県甲賀市土山町大野山林にて

2016年3月4日に「第2回琵琶湖森林パートナー」植林活動を実施しました。滋賀工場の社員15名が参加し、桜の苗木を10本植樹。また苗木だけではなくすぐに倒れてしまうので更に支柱を打ち込み、苗木を括り付ける作業を行いました。



「第2回琵琶湖森林パートナー」植林活動

### ● 埼玉県ときがわ町弓立山にて

弓立山(標高420m)は2013年5月の森林火災により、約7.6haの焼失被害を受けました。この山を再生すべく、2015年4月25日に「第1回ジーテクトの森林づくり」活動を開始しました。埼玉工場・羽村地区・本社・群馬工場の社員45名が参加し、ときがわ町の花「ミツバツツジ」や町の木「ヤマモミジ」等の広葉樹80本の植林を行いました。

また、9月26日には「第2回ジーテクトの森林づくり」活動を実施し、社員20名にて、苗木周辺の背の高くなった雑草を長柄刈払鎌を使って人力で刈りました。(下刈り)



「第2回ジーテクトの森林づくり」下刈り活動

この他に、公益社団法人埼玉県農林公社と管理事業委託をしており、2015年度は合わせて、519本の植林実績となり、埼玉県より5.4t-CO<sub>2</sub>の吸収量認証を受けています。



埼玉県森林CO<sub>2</sub>吸収量認証制度



ミツバツツジの苗木